

第198回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2006年10月20日(金) 13時~16時50分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室(14号館4階) アクセス**
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題: タンパク質の分析に関する技術

開催趣旨: タンパク質の分析に関する技術を、いろいろな側面からご紹介いたします。今回の講演では、タンパク質の分析に関する技術を、前処理、分離、そして解析に分類し、それぞれ最新の技術について報告します。また今後のタンパク質分析に関する技術の展望についても触れたいと思います。

講演

1. **講演主題概説** (13:00~13:05)
(株)資生堂) 神田 武利
2. **ホスホリルコリン基を有する水系GPC充填剤の基本特性** (13:05~13:35)
(株)資生堂) 神田 武利
3. **LCによる低分子解析の前処理としてのタンパク質除去法** (13:35~14:05)
(日本ミリポア(株)) 衛藤 有紀子
4. **ミックسدファンクショナル充填剤を用いたフロー型NMR用タンパク質自動回収システムの開発** (14:05~14:35)
(株)資生堂) 平山 綾
5. **UPLC(/MS)による高分離・高感度ペプチドマッピング** (14:35~15:05)
(日本ウォーターズ(株)) 津田 葉子
6. **二次元LCMSを用いたプロテオーム解析減** (15:20~15:50)
(株)島津製作所) 増田 潤一
7. **タンパク質混合物の一斉同定** (15:50~16:20)
(財)化学物質評価研究機構) 山中 秀徳
8. **総括: タンパク質の分析に関する技術への期待と展望** (16:20~16:50)
(東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員: 1,000円、会員外: 3,000円、学生: 500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

懇親会

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費 :1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572]